

日本の展望委員会 大学と人材分科会（第1回）議事録

1. 日時：平成20年9月25日（木）14:00～15:30

2. 会場：日本学術会議 5-C(1) 会議室

3. 出席者：青柳、平松、郷、中西、馬越、大垣（書記）、三田、永原、益田、北原、森田。

事務局：渡辺、戸田、井上、中島、大西、生形

欠席：佐藤、笠木

4. 配布資料：

資料1 「日本の展望—学術からの提言（仮題）」についての考え方

資料2 日本の展望委員会テーマ別検討分科会でとりあげるテーマの説明

資料3 日本の展望委員会 今後の進め方等について

資料4 大学と人材分科会委員名簿

参考1 日本の展望委員会運営要綱

参考2 日本の展望委員会委員名簿

参考3 会議の開催について

参考4 提言「新しい理工系大学院博士後期課程の構築に向けて—科学・技術を担うべき若い世代のために—」

参考5 日本の計画 Japan Perspective

参考6 日本の科学技術政策の要諦

5. 審議内容

(1) 役員の選出

委員長 笠木 伸英 東京大学大学院工学系研究科教授（第三部）

副委員長 郷 通子 お茶の水女子大学学長（第二部）

幹事 佐藤 学 東京大学大学院教育学研究科教授（第一部）

幹事 大垣 眞一郎 東京大学大学院工学系研究科教授（第三部）

の各役員を選出した。

(2) 資料説明

事務局より資料の説明があった。

(3) 分科会の検討事項および今後の進め方について

第1回であるので、検討すべき事項、現状の認識、今後の進め方など自由討議の形で審議した。

1) 現状認識として、少子化、予算削減、教員の教育意欲減、評価作業の過剰、社会の教師への尊敬の念の欠如、日本の大学の教育力の弱体化などが指摘された。

2) 審議のための情報として、学部力に関する委員会の動向、中教審の大学部会の動き、欧州でのボローニャ宣言などの大学間交流計画、など周辺情報の把握の必要性が指摘された。

3) 検討課題として、中長期的高等教育の検討、世界とアジアの中での日本の教育システムの検討、大学の規模など各種多様性の考察、高等教育理念の考察、日本社会が形成してきた伝統的な子供の育成思想の考察、などさまざまな課題が話題として提起された。

(4) 今後の予定

第2回は改めて日程調整をおこなうこととした。

以上